

# 病院の実力「脳卒中」

医療機関別2009年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	患者数 (人)	脳梗塞		下くも膜出血	脳出血
		患者数 (人)	t-P/A 実勢	患者数 (人)	患者数 (人)
倉敷中央	502	14	△	76	176
川崎医大	569	49	○	38	146
津山中央	251	7		68	133
国・岡山	252	16	△	19	71
岡山赤十字	227	37	○	25	70
岡山市立市民	179	8	△	32	76
済生会総合	200	0	△	14	60
村上脳神経外科内科	152	8		24	84
岡山東部脳神経外科東備	184	1		2	18
岡山東部脳神経外科岡山	147	10		16	40
倉敷平成	120	12		25	43
川崎医大川崎	125	0		10	44
岡山旭東	35	14	△	22	110
岡山協立	143	0		5	14
金田	80	5	△	3	27
岡山大	34	1	○	16	10
香川三豊総合	497	2	△	30	77
広島おさか脳神経外科	436	17	○	32	91
広島脳神経セ大田記念	899	26	○	65	256

「セ」はセンター、「国・」は国立病院機構。血栓回収治療の態勢は2010年11～12月時点で、○は整備済み、△は整備中、空欄は「整備の予定なし」または無回答。県名欄の「広」は広島県。

009年1年間の治療実績をアンケートした。

一覧表では病気ごとの患者数、脳梗塞の患者に投与する薬剤「t-P/A」による治療数に加え、昨年10月から保険適用された血栓回収治療による治療態勢についても掲載した。

t-P/Aは血流を妨げている血栓を溶かす薬剤。治療を受けた患者の3分の1は、ほぼ後遺症もなく日常生活が可能とされる。治療は発症後3時間以内の患者に限られるため、病院への搬送や的確な診断など、迅速な対応が重要。

t-P/Aの実績は、専門

医やスタッフなどの態勢が整備されているかどうかを見極める目安となる。

血栓回収治療は発症後8時間以内まで行える。大ももの付け根の血管からカテーテル(管)を脳まで通し、先端のらせん状のワイヤで血栓を回収する。

関連学会の実施基準では、脳卒中治療で一定の実績がある施設で、血管内治療に習熟した専門医がいることなどが条件。アンケートによると、この治療態勢が整備済みの施設は全国で2割にとどま

脳卒中は「脳梗塞」「脳出血」「くも膜下出血」の

多く、寝たきりになる最大の原因だ。

読売新聞は昨年11～12月、日本脳卒中学会認定研

修教育病院や日本脳神経外科学会専門医訓練施設、日本脳神経血管内治療学会認定研修施設などに対し、2

# t-P/A 発症3時間内

\*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。